校正依頼書

東京航空計器株式会社　校正室　校正課　TEL:042-798-6630
Email: info-cal@tkk-air.co.jp　FAX:042-798-6641

記入日 yyyy/mm/dd	工事番号(弊社)	受付番号(弊社)
20〇〇年〇月〇日		

校正依頼者（校正証明書の宛名）

会社名	〇〇〇〇株式会社				
住　所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇				
担当者	〇〇　〇〇	所属	〇〇部　〇〇課		
TEL	000-000-0000	FAX	000-000-XXXX	E-Mail	xxx@example.com

申込者（上記校正依頼者と同じ場合、記入は不要です）

会社名					
住　所					
担当者		所属			
TEL		FAX		E-Mail	
弊社営業担当	所属	〇〇営業部		担当者	〇〇　〇〇

ご依頼品

	品　名	製造者名	型　式		器物番号
1	デジタル圧力計	〇〇〇〇株式会社	DG-0000-G-100kPa-00		4321
仕様	範囲:0～100 kPa G　精度:±(0.05 %FS+1digit)　継手:Rc1/8			管理番号	987654321
2	外付けセンサ	〇〇〇〇株式会社	TP-0000-V-200kPaG		1234
仕様	0～200 kPa G　PT1/8			管理番号	123456789
3					
仕様				管理番号	

校正内容

☑ 前回と同じ校正内容　　前回成績書又は証明書番号: Q000000

実施項目	① 校正/初検	② 調整	③ 再校正
一般校正	☑	☑ 誤差が許容値の 75 %超の場合調整	☑
JCSS校正	☐	☐ 調整前に連絡　☐ 調整前の検査成績書発行	☐

校正媒体	気体	☑ 純窒素(標準)	☐ 乾燥空気	
	液体	☐ Spinesstic22(標準)	☐ セバケイト	☐ 禁油(油水変換)
校正点	0, 20, 40, 60, 80, 100, 80, 60, 40, 20, 0 [%]			
要求書類	☑ 和文／ ☐ 英文	検査成績書× 1 部	トレーサビリティ体系図× 部	
	JCSS校正証明書× 部	一般校正証明書× 1 部	トレーサビリティ証明書× 部	

校正年月シール貼り付け　☑ 要 ／ ☐ 否(チェックが無い場合は、貼付します。)

希望納期	契約納期(弊社)	完了日(弊社)
20〇〇年〇月〇日		

連絡事項	受領印
ノートPC 通信ケーブル	受付担当:

東京航空計器株式会社
Tokyo Aircraft Instrument Co., Ltd.

2013.12.02版

校正依頼者(校正証明書の宛名)

会社名、住所　会社名と住所は、校正証明書に記載する通りにご記入ください。
例)「株式会社」と「㈱」、「1丁目2番地3」と「1-2-3」、大文字・小文字等は必ずご確認してください。
(検査成績書は会社名のみの記載となります)
弊社営業担当　弊社営業担当者が不明の場合、ご記入は不要です。

ご依頼品

1～3項　本体(又は表示器)と外部接続のセンサ等があり、各機器毎に型式・器物番号がある場合は、全てご記入ください。
例1)『本体(内蔵センサ)＋外付けセンサ』で、『外付けセンサ』が複数あり、それぞれ校正をご依頼される場合は、
『1:本体』、『1:本体＋2:センサ①』、『1:本体＋2:センサ②』・・・と各組合せ毎に本依頼書を作成してください。
例2) 重錘形圧力天びんの場合は、『1:本体』、『2:重錘』、『3:ピストン・シリンダ』をご記入して頂き、
ピストン・シリンダが複数ある場合は、『1:本体＋2:重錘＋3:ピストン・シリンダ①』、
『1:本体＋2:重錘＋3:ピストン・シリンダ②』・・・と各組合せ毎に本依頼書を作成してください。
(温度計、真空計等の周辺機器は、『連絡事項』の欄をご利用ください。)
仕様　ご依頼品の圧力の範囲、種類、精度、継手のサイズ等をご記入ください。
一台に複数のセンサ(レンジ)がある場合は、「R1:0～200 kPa G　R2:0～1000 kPa G　大気圧センサ:75～115 kPa A」等ご記入ください。
(記入しきれない場合は、下段(2、3項)又は『連絡事項』の欄をご利用ください。)
管理番号　要求書類に、ご依頼品の貴社管理番号の記載をご希望の場合、ご記入ください。

校正内容

実施項目　ご希望の実施項目にチェックを入れて校正内容をお選びください。
初検の後、調整をご希望の場合は、誤差が許容値の何%超の場合調整するかをご記入ください。
初検の結果によって調整の実施をご検討される場合は、『調整前に連絡』にチェックをご記入ください。
調整前の検査成績書が必要な場合は必ず『調整前の検査成績書発行』にチェックをご記入ください。
例1)①一般校正又はJCSS校正　(校正のみで調整は不要)
例2)①一般校正　→　②調整　→　③一般校正又はJCSS校正　(初検後、指定の許容値を超えた場合、調整と再校正を実施)
例3)①JCSS校正　→　②調整　→　③JCSS校正　(調整の前後共にJCSS校正)
校正媒体　使用する圧力媒体をご選択ください。(仕様による指定、又はご希望が無い場合は、標準の媒体を使用します)
禁油(油水変換):7MPaを超える圧力では液体媒体使用しますが、油が使用できないご依頼品の場合は純水を充填して校正を行います。
校正点　ご希望の校正点、又は校正点数をご記入ください。
(JCSS校正の場合は、0を含まない片道5点(20 %毎)以上の往復になります。)
例1) 0, 20, 40, 60, 80, 100, 80, 60, 40, 20, 0 [kPa]
例2) 0, 20, 40, 60, 80, 100, 100, 80, 60, 40, 20, 0 [kPa]
例3) 0, 20, 40, 60, 80, 100, 50, 0 [%]
例4) 0含む10 %毎の往復19点
例5) 製造元の成績書又は取扱説明書通り。
要求書類　和文／英文をご選択の上、各種書類の必要部数をご記入ください。
ご依頼品に『校正年月シール』を貼付いたします。不要な場合は否にチェックをご記入ください。
ご希望の納期をご記入ください。(ご希望に添えない場合は別途調整させて頂きますのでご了承ください。)
連絡事項　付属品及び必要な同梱品等をご記入ください。
その他、ご希望等ありましたらご記入ください。
例1) センサの設置姿勢の指定。
例2) 高さ基準位置の指定。